

(1) 防火対象物法定点検維持台帳の記入要領

項 目		記 入 内 容
特例認定の有無	認定年月日	認定通知書の認定の効力を生じる日の欄の日付けを記入する。
	取消年月日	特例認定取消書の交付年月日を記入する。
点 検 年 月 日		点検を実施した年月日を記入、2日以上にかけて点検を実施した場合は、「〇年〇月〇日～〇日」の例により記入する。(消防用設備等法定点検維持台帳も同じ)
点検実施者	点検資格者 交付番号	点検を実施した防火対象物点検資格者の修了証の交付番号を記入する。
	氏 名	点検を実施した防火対象物点検資格者又は消防設備士又は消防設備点検資格者の所属会社名等及び氏名を記入する。
報 告 年 月 日		当該結果を消防長又は消防署長に報告した年月日を記入する。
不備事項の内容		点検結果不備事項の内容を詳細に記入する。
措 置 の 内 容		不備事項に対する措置の内容を詳細に記入する。不備事項がない場合はその旨を記入する。

(2) 消防用設備等法定点検維持台帳の記入要領

項 目		記 入 内 容
消防用設備等の種類		点検した消防用設備等を、防火管理維持台帳総括表2（所有者等用） <u>消火設備～消火活動上必要な施設等</u> の記入要領に掲げる消防用設備等に区分して記入する。 なお、点検実施日が同一時期の設備については、当該欄に一括記入して差し支えない。
点 検 種 別		実施した点検の種別（機器点検は6ヵ月ごと、総合点検は1年ごと）を記入する。
報 告 年 月 日		当該点検の結果を消防長又は消防署長に報告した年月日を記入する。 なお、特定防火対象物にあっては1年に1回、その他の防火対象物にあっては3年に1回機器点検及び総合点検の結果を報告してください。

(3) 消防用設備等の工事、整備等経過一覧表の記入要領

項 目		記 入 内 容
年 月 日		法定点検、自主点検等で不具合等及び工事、整備をした年月日を記入する。
不 具 合 内 容		法定点検、自主点検等で判明した不具合内容（不備内容）を具体的に記入する。 例 「〇階東側の出入口の誘導灯が消灯」
工 事 ・ 整 備 内 容		判明した不具合内容を改修した結果を記入する。 例 「〇階東側の出入口の誘導灯の蛍光灯を交換」 また、不具合はないが単独で行った工事の内容も具体的に記入する。 例 「〇階〇〇室に自動火災報知設備の感知器を増設」
確 認 者		不具合等及び工事、整備を確認した防火対象物の関係者の氏名を記入する。
点 検 者 等 工 事 ・ 整 備 者 等		点検等を実施した消防設備士、点検資格者の氏名、所属会社名、会社の住所、電話番号等を記入する。

(注)1 この経過一覧表は、消防用設備等ごとに記入する。

2 記入欄に書ききれない場合は、別紙等に記入して添付する。